

「年度のはじめにあたり」

男子バスケットボール部のページへようこそ

【部員の皆さんへ】

勉強の集中は、バスケットの集中！

こんなエピソードがある。2016年に優勝したメンバーには田中慎也という選手がいた。彼は2年生のときから試合に出ており、シュートセンスのある選手だったが、以前から集中力が課題であった。そして、お世辞にも勉強ができるほうではなかった。終礼テストで不合格になれば、朝練の時間に追試がある。それだけで他の選手よりも遅れてしまう。追試にならないように勉強し必ず合格していた。その結果、3年生になると国公立大学を狙えるまで成績を上げた。集中力というのは、日常生活や学習を疎かにしないことから身につけていくと思う。最後の総体では、彼は学校の成績を上げたことにより、努力することを覚え、集中力の高め方を身につけていた。また、私が期待していたことを感じてくれたような気がする。以前とは顔つきが変わっていた。「あんなに頑張ったんだから、ここでお前にできないはずはない！」そう言ってコートに送り出した。彼はその期待にしっかりと応えてくれ、大舞台で自分の仕事をまっとうし、決勝戦では勝負を決定づける活躍までしてくれた。そして、三重大学教育学部に合格して、体育の教師を目指している。「勉強の集中」は「バスケットの集中」。それが高校生の本分だと思う。



2016年に優勝したメンバー田中君
「月刊バスケットボール」
2016年3月号26ページより

【新入生および中学生の皆さんへ】

男子バスケットボール部は、ボールに刻まれた『感謝』を胸に全力を尽くすことをスローガンに掲げています。なぜ、あいさつや感謝のありがとうが必要なのでしょう。試合や人生に勝利するための大切な心の習慣につながるからです。

高校を卒業していくとき、皆さんの心に残るものは何だろう。「同じ目標を持った仲間と充実した練習をした」「皆と協力し合った」「自分の心は強くなった」・・・勝った負けたことよりも、日々の充実した生活の思い出や、仲間の絆のほうが強に残るのではないだろうか。目標に向かって高校3年間、一緒に頑張ろう。皆さんの入部を歓迎します。

【主な公式戦】

高校総合体育大会予選（未定） 愛知県リーグ戦 県1部（今年度は中止）
夏季選手権大会（8月） 高校バスケットボール選手権大会 オール愛知（10月）
高等学校体育大会連盟新人体育大会予選（1月）